作業要領書

VY434　電動排出クラッチ＋フラップキット（1）

1.部品一覧表

	部品番号	名称	数量	備考
1	3669 9801 003 1	CHART,INSTALLATION	1	作業要領書(1/2),(2/2)
2	3666 9802 000	ADJUSTMENT MANUAL	1	ｵｰｶﾞﾌﾗｯﾌﾟ調整要領書(1/2)(2/2)
3	3628 9902 000	INSTRUCTION	1	ｵｰｶﾞﾘﾓｺﾝ取扱説明書
4				
5	3628 9910 000	FLAP ASSY	1	ﾌﾗｯﾌﾟ操作用組立部品
6	H154 0108 016	BOLT	4	
7	3628 9921 000	PLATE	2	
8	H194 0106 016	BOLT	8	
9	3659 9388 001	COVER	1	
10	0040 1001 601	GROMMET	1	
11				
12	3669 9806 000	HARNESS G	1	ﾌﾗｯﾌﾟ操作用ハーネス
13	0051 1032 070	BAND WIRE	1	ﾌﾗｯﾌﾟ操作用ハーネス結束ﾊﾞﾝﾄﾞ
14				
15	3572 0857 000	ﾘﾚｰｱｯｼ	1	ﾌﾗｯﾌﾟﾓｰﾀ用
16	F300 0106 001	NUT	1	
17				
18	3606 0991 001	CONTROL UNIT A	1	ｵｰｶﾞﾘﾓｺﾝ
19				
20	3598 9805 000	ﾌﾞﾗｹｯﾄｱｯｼ	1	電動排出ｸﾗｯﾁ操作部品ﾌﾞﾗｹｯﾄ
21	H154 0108 045	ﾎﾞﾙﾄ7T	2	
22	F301 0108 001	NUT	2	
23	3598 9806 501	ｷﾞﾔｱｯｼ	1	電動排出ｸﾗｯﾁ操作用ｷﾞﾔ
24	3598 9808 000	ｶﾗｰ	1	
25	3596 6242 000	ﾓｰﾀ	1	電動排出ｸﾗｯﾁ用ﾓｰﾀ
26	H144 0106 016	BOLT	3	
27	3669 9808 000	COVER ASSY	1	
28	3669 9823 000	HARNESS GK	1	電動排出ｸﾗｯﾁ用ハーネス
29	3594 9824 000	ﾘｰﾄﾞｾﾝA	1	
30				

2.組立・配策要領

※注意
作業中取り外した部品は再利用するものがあるので、なくさないよう注意してください。

2．1　フラップキット部品組立要領

（1）オーガ先端部のプレートとビニールシート、及びメクラシールを外します。
（プレートはM8ナット4ヶ、ビニールシートはM6ナット8ヶを使用）

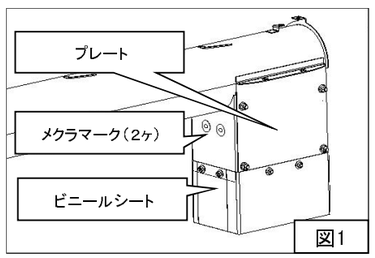


図1

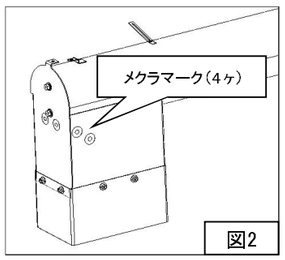


図2

（2）⑥ボルト4ヶと（1）で外したM8ナット4ヶで⑤フラップアッシを組付けます。

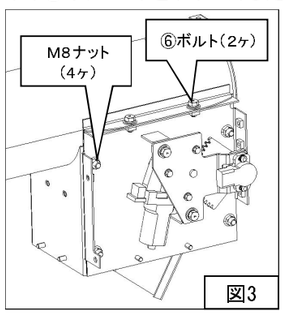


図3

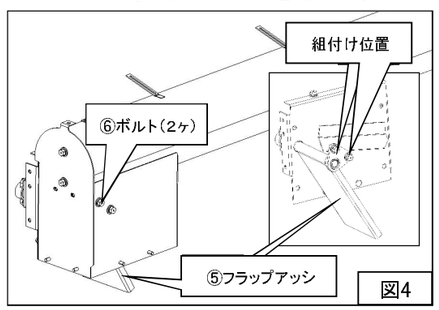


図4

（4）⑧ボルト4ヶで⑦プレート2ヶを組付けます。

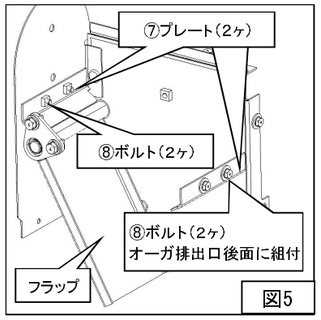


図5

2．2　フラップキット部品配索要領

（1）⑫ハーネスGのフラップモータ（2極）とポテンショメータ（3極）のコネクタを、⑤フラップアッシのモータとポテンショメータに接続します。
（2）2．1（1）で取り外したビニールシートをナット8ヶで組付けます。

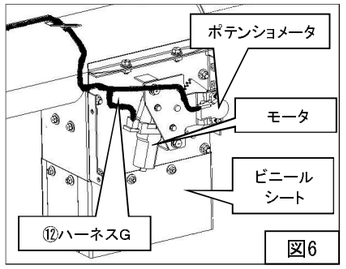


図6

（3）⑩グロメットに⑫ハーネスGが通るように切り込みを入れ、⑨カバーに瞬間接着剤で接着します。
（4）⑫ハーネスGをグロメットに通し、図示位置にて⑨カバーを組付けます。
（5）⑨カバーを⑧ボルト4ヶで組付けます。

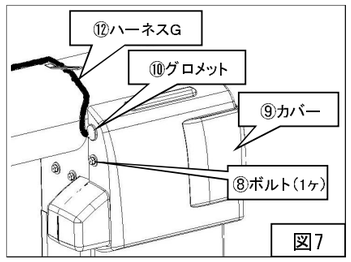


図7

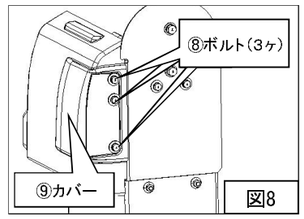


図8

（6）⑫ハーネスGをオーガにある溶接クランプにてオーガ先端より縦パイプに向かって固定してください。このとき、オーガ収納状態にて固定する際、A部でオーガ伸展時でも余裕があるよう固定してください。

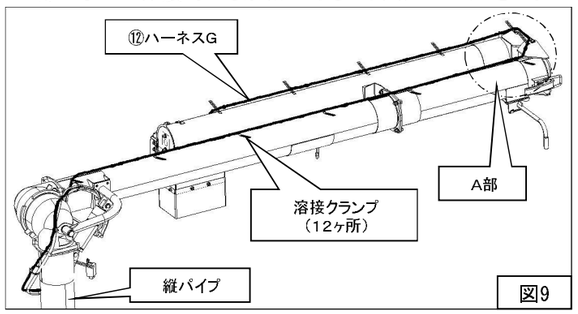


図9

（7）⑫ハーネスGを⑬結束バンド2ヶと既存のクランプを使用し、油圧ホースと共に縦パイプまで配索し、既存ハーネス（ハーネスB）の2極コネクタと接続します。

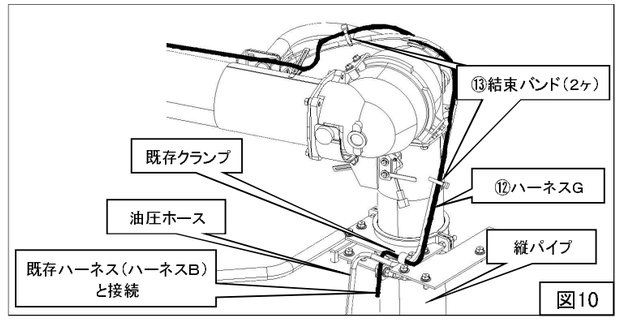


図10

2．3　電動排出クラッチ部品組立要領

（1）グレンタンクのオープン要領に従いタンクを開け、オーガリモコンのコネクタを外した後、カバー1、カバー2、カバー3を順番に外します。
（カバー1、2はM6ボルト各2ヶ、カバー3はM6黒ボルト4ヶを使用）

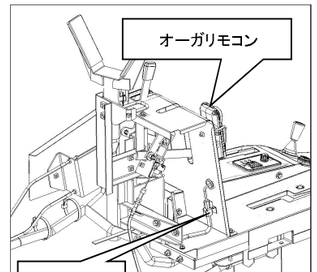


図11

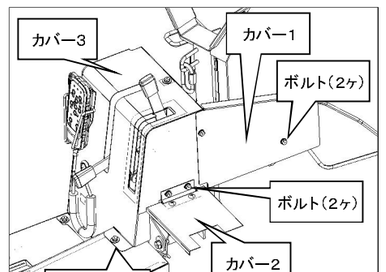


図12

（2）排出レバースイッチ1と本配線のギボシを外した後、本機配線側のギボシ同士を接続します。（ギボシが外れているとエンジンが始動出来ません。）
（3）排出レバースイッチ2のコネクタ（2極）を外した後、本機配線側コネクタと㉙リードセンAを接続します。（接続しないとこく粒排出スイッチ操作を受け付けません。）
（4）排出レバースイッチブラケットを排出レバースイッチごと外します。
（M6ボルト2ヶを使用）

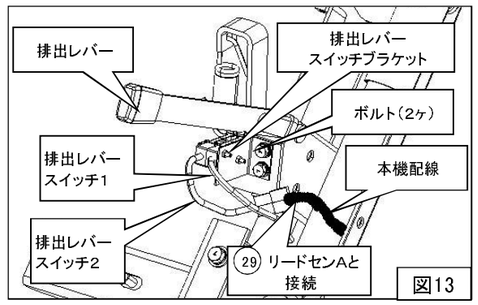


図13

（5）ナットとワッシャを外し、スプリングと排出レバーを外します。

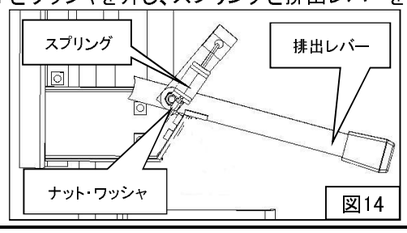


図14

（6）⑳ブラケットアッシを㉑ボルト2ヶと㉒ナット2ヶで固定し、スプリングを㉓ギヤアッシと連結します。

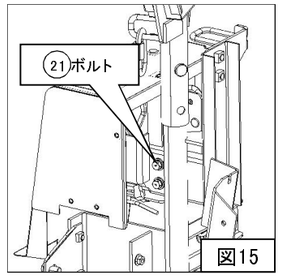


図15

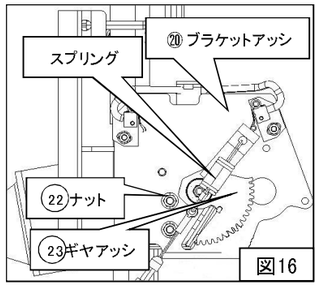


図16

（8）㉓ギヤアッシをシャフトにはめ、㉔カラーを入れた後、（5）で外したナットとワッシャで組付けます。

（9）㉖ボルト3ヶで㉕モータを固定した後、㉕モータと㉓ギヤアッシにグリスを塗布します。

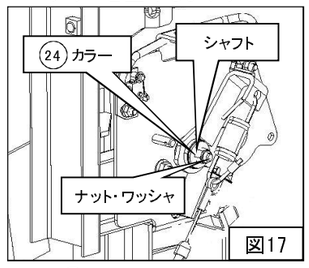


図17

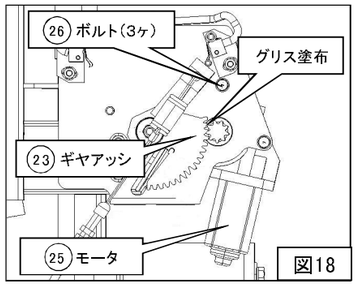


図18

（10）㉗カバーアッシを本機に組付けます。ボルトは2．3（1）で外した黒ボルト4ヶを使用します。

（11）⑮リレーアッシを既存のリレー横のPボタン位置に⑯ナットで組付けます

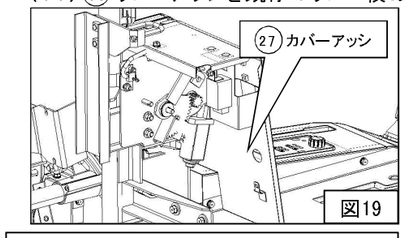


図19

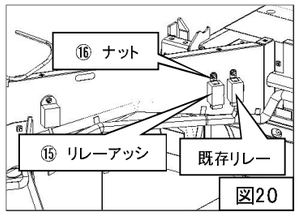


図20

2．4　電動排出クラッチ部品配索要領

（1）㉘ハーネスGKを既存ハーネスに沿って配索します。このとき、コンポロック支点部の既存の結束バンド4ケで固定します。

（2）既存ハーネス（ハーネスB）の12極コネクタのコネクタカバーを外し、㉘ハーネスGKと接続します。

（3）㉘ハーネスGKと ⑫ ハーネスGを接続します。

（4）㉘ハーネスGKのコネクタを各所に接続します。

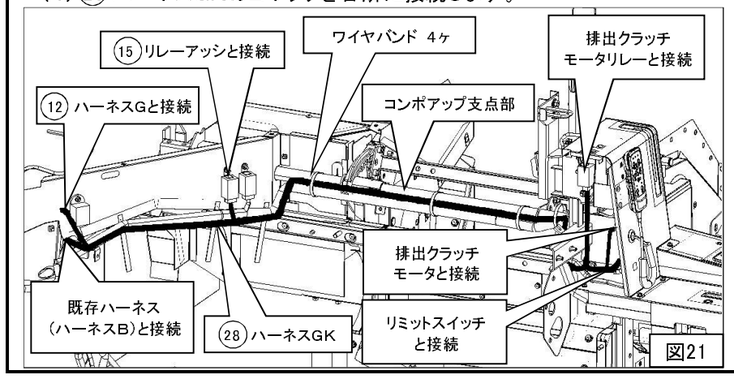


図21

3．オーガリモコン組立・調整要領

3．1　オーガリモコン組立要領

（1）2．3（1）で外したカバー3に組付けてあるホルダとプレートを外し、（ボルト2ヶ）㉗カバーアッシに同様に組付けます。

（2）⑱コントロールユニットAのコードを㉗カバーアッシの穴に通し、内側のコネクタホルダに固定します。

（3）⑱コントロールユニットAのグロメットを㉗カバーアッシの穴に装着し、⑱コントロールユニットAをホルダに格納します。

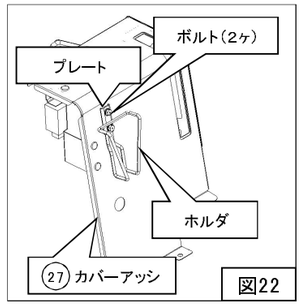


図22

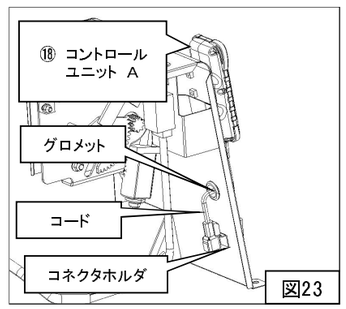


図23

（4）⑱コントロールユニットAを2．3（1）で外した本機側コネクタと接続します。

3．2　オーガフラップ開閉リミット　メモリバックアップ要領

（1）スタータスイッチ《切》状態にて
決定スイッチ≪ON≫、選択・数値変更スイッチ≪下げ≫にしながら、スタータスイッチを《入》にします。
ブザーが2回鳴ります。

（2）メニュースイッチを操作して、メニュー 番号を《1》にセットします。

（3）選択・数値変更スイッチを操作して、選択番号を《0》、《4》にセットします。

（4）決定スイッチを押します。

（5）再度、決定スイッチを押すと、フラップポテンショ自動セットアップを開始します。
・開側出力により、リミット位置のフラップポテンショ値を記憶します。
バックホーンが鳴ります。（単音）

・閉側出力により、リミット位置のフラップポテンショ値を記憶します。
バックホーンが鳴ります。（単音）

・ブザー断続音が2回鳴ります。
・書き込みOK表示（7セグメント表示器*部）が≪1≫に変わったことを確認します。

（6）スタータスイッチを 《切》 にします。

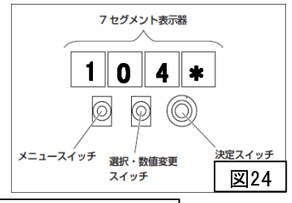


図24

3．3　オーガフラップ調整要領

（1）別紙のオーガフラップ調整要領書の手順に従い、フラップの調整を行います。

4.電動排出＋フラップ　動作確認・調整要領

※動作確認時は、③オーガリモコン取扱説明書を参照してください。

（1）グレンタンクを閉じ、排出ベルトが正常な状態でプーリにかかっているか確認します。

（2）エンジンを始動します。

（3）⑱コントロールユニットAの上・下・◁・▷ スイッチ操作にてオーガを上下左右出来ることを確認します。

（4）オーガをこく粒排出範囲まで移動させ、⑱コントロールユニットAの排出スイッチを押します。
（ホーンが鳴り、モータが作動しクラッチが《入》状態になり、フラップが自動的に全開することを確認します。）
このとき、ギヤアッシとロックプレートが接触していれば、接触しない様リミットスイッチの調整を して下さい。

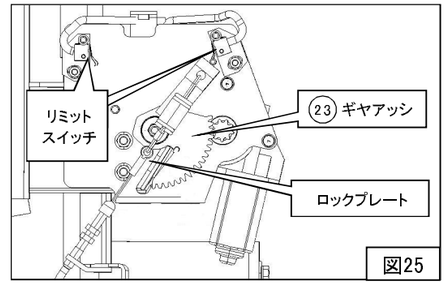


図25

（5）オーガフラップ開閉スイッチ操作にてフラップが開閉されることを確認します。

（6）ワイヤ調整をします。スプリング セット長が81～85mmになるよう、アウタを調整します。

（7）⑱コントロールユニットAの排出スイッチを押します。
（ホーンが鳴り、モータが作動しクラッチが《切》状態になります。）
ギヤアッシとロックピンが接触していれば、リミットスイッチの調整をして下さい。

（8）スタータスイッチを《OFF》にします。

（9）エンジンを始動します。

（10）⑱コントロールユニットAの排出スイッチを押し、数秒後エンジンを停止させます。

（11）再度スプリング セット長を確認し、81～85mmでないなら、アウタ調整をして下さい。

（12）オーガを格納位置まで移動させ、こく粒排出スイッチ操作で排出されないことを確認します。

（13）2．3（1）で外したカバー2、カバー1を順番に組付けます。

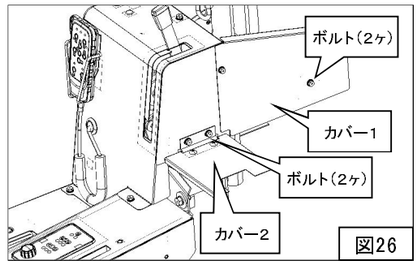


図26